

今、地震は日本のどこで発生するかわかりません。  
あなたの家は地震が来ても大丈夫でしょうか？



## ■なぜ、耐震診断・耐震改修を行わなければならないのでしょうか？

毎年のように各地で頻発する大型地震。もはや巨大地震は日本のどこでいつ発生してもおかしくない状況です。

なかでも、阪神淡路大震災は未曾有の被害をもたらし、死者数は5,502人も尊い命が失われました。この内、建物倒壊による死者数は死者数の9割にあたる4,831人にも上りました。この時倒壊した建物の大半は昭和56年の改正建築基準法が施行される以前に建てられた建築物であり、耐震強度の不足している建築物が被害を拡大させたのです。

現在、国東市の建築物におきまして、新耐震基準を満たしている住宅はわずか42%しかありません。すなわち、大地震が直撃すると国東市の住宅の半分以上が崩壊すると推定されます。

